

各位

上場会社名 大建工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 徳田 正則
 (コード番号 7905)
 問合せ先責任者 取締役常務執行役員財務経理部長 照林 尚志
 (TEL 06-6452-6340)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年5月8日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	85,000	1,700	2,100	2,600	21.40
今回修正予想(B)	81,700	2,450	2,460	2,610	21.48
増減額(B-A)	△3,300	750	360	10	
増減率(%)	△3.9	44.1	17.1	0.4	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成27年3月期第2四半期)	82,588	1,438	2,120	1,313	10.65

平成28年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	174,000	4,000	4,800	3,800	31.27
今回修正予想(B)	170,000	5,100	5,100	3,900	32.09
増減額(B-A)	△4,000	1,100	300	100	
増減率(%)	△2.3	27.5	6.3	2.6	
(ご参考)前期実績 (平成27年3月期)	168,833	3,452	4,648	2,736	22.34

修正の理由

当第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、比較的好調な賃貸住宅市場においては売上を拡大いたしました。一方、ビルダー向けの売上が低調であったこととエンジニアリング事業における工事需要が想定より伸びず、売上高は当初予想値を下回る見込みとなりました。一方、利益面においては、コストダウンなどによる収益面の改善と一部製品の販売価格改定により、営業利益は、当初予想値を上回る見込みとなりました。また、これにより経常利益も当初予想値を上回る見込みとなりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、特別損失としてのれん償却額を計上することとなりましたことからほぼ当初予想値どおりとなる見込みです。また、直近の状況を踏まえ平成28年3月期通期連結業績予想につきましても修正をいたします。

(注)上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。